

# 関西武夫原会

会計 本島昭男 (法16回卒)

平成14年11月22日、大阪城に程近い旧男爵邸という「太閤園」において関西武夫原会総会及び懇親会が開催されました。北森副会長の開会の辞に引き続き、谷会長の挨拶、業務報告・会計報告・役員改選等、例年の如く議事は粛々と進行して

いきました。

さて、ここで例年と異なったのは、小川先輩(法5回卒)所属の楽団、ウィークディアンサンプル(有志)によるミニコンサートです。ウエルカム演奏として「五高寮歌」、そして軽快な「ラ・クンパルシー

— 8 —

タ)、懐かしい「故郷」、「五木の子守唄」他、そして「乾杯の歌」まで、雰囲気は一転して楽しく浮き浮きとしてきました。普段忙しくてコンサートに行く機会の少ない方もおられたと思いますが、なかなか粋でおしゃれな会と大変好評を博しました。その雰囲気につられてか熊本本部や東京、宮崎各支部から多岐にわたる活動状況をいつにも増して熱心にご紹介頂いたこと、また志文会、紫苑会の皆様の変わらぬご交情、熊本県大阪事務所、熊本日日新聞社の力強いご声援は今総会出席者約70名と少し元気を無くしていた当支部にとって大きな励みとなりました。特に今回は、関西熊本県人会連絡協議会に平成15年4月をもって入会することが発表されたこととあいまって、熊本県に根を置く大きな輪の一員として、わが関西武夫原会もさらなる発展をすべく決意を新たにしたことでした。

そして、なんといっても会員の楽しみは総会後の懇親会であり、幹事も十二分に楽しんでもらおうとあれこれ心を砕いております。ゲームもいくつか用意されていますが、賞品には、ペア食事券あり、ワインあり、トイレットペーパーありと多種様々で、今年は肥後椿の苗、懇切丁寧な育て方の説明書付きというのもありまし



た。たかがゲームと笑うなかれ、なかなか皆真剣になるものです。当支部の苦しい台所を預かる会計担当という立場の小生としては、賞品が並んだ舞台上のある一点が気になります。というのは、ビンゴゲーム当選者は賞品にたどり着く前にチャリティボックスという関門を通らなければならず、この尊い御寄附のおかげで当支部はなんとかやりくりできているというわけがあるからで、皆様のご協力に大変感謝している次第です。

それぞれに楽しい会話がはずんでいても、やがて五高寮歌・武夫原頭に草萌えて……の時間となりますが、いつも諸先輩がたの元気な踊りには圧倒されてしまいます。そして川添副会長が閉会を宣し、最後に平成卒の梅川常任幹事の威勢の良い三本締めで締めくくり、来年の再会を約してお開きとなりました。

(もとしま あきお)

